

みどりっこだよ



みどりっこは、お子様が病気やケガなどで保護者の方がご家庭で看病ができない時に、お子様の症状や体調などに合わせて回復に早く向かえるように専任看護師・保育士が保育看護を行い、1日を安心・安全で快適に過ごしていただく医療機関併設型の病児保育室です。

赤ちゃんのよだれについて

赤ちゃんがよだれを垂らすのはごく自然なことですが、それでもよだれの量が多かったり、反対に少なくて心配になることもあるかもしれません。

赤ちゃんのよだれはなぜ垂れるのか、そしてよだれが出る時期や役割についてお話ししていきます。

よだれが出始める時期

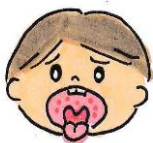
唾液腺が発達するのは生後4～5カ月頃。生後5～6カ月頃になると唾液の量がぐんと増えます。しかし、唾液を飲み込む力はまだ未熟なため、飲み込めなかった唾液がよだれとなって出てくるのです。

逆に、よだれが少ない子は上手に唾液を飲み込んでいる証拠です。個人差はありますが2歳を過ぎると自然に少なくなってきます。

よだれの役割



よだれは食物の消化を助ける酵素をたくさん含み、食べ物の消化・吸収をよくする働きがあるのと同時に、口の中を清潔にする作用や口の中の乾燥を防ぐ作用があります。また、歯ですりつぶされた食べ物と混じり合って飲み込みやすい状態にします。



※よだれが急に増えたら・・・

飲み込む力が未発達である他に理由があるかもしれません。溶連菌などの病気で喉に痛みがあったり、口の中に発疹や口内炎があることにより、うまくよだれを飲み込めないこともあります。急によだれが増えたと感じたら、口の中をチェックしてみましょう。

よだれかぶれ

よだれかぶれは赤ちゃんの皮膚が大人よりも薄く乾燥しやすいため、わずかな刺激を受けるだけで肌に負担がかかりやすいことが主な原因です。口を閉じたり唾液を飲み込むことが上手に出来ず、唾液に含まれる消化酵素が刺激となり、よだれかぶれになることがあります。また、よだれが垂れたまま放っておいたり、食べ物が付着することも肌にとって刺激となってしまうます。

よだれかぶれの対策



1. 柔らかいコットンで拭き取る

こするようにして拭くと肌に刺激を与えてしまうので、やさしくポンポンと押さえます。飲食などで口の周りが汚れていたら、軽く湿らせた柔らかいコットンでそっと拭いてあげましょう。拭き取った後はガーゼで押さえるようにして水分を取ります。

2. こまめにスタイを交換する



寝ている時にスタイをつけたままにしていると、何かの拍子でこすれて悪化することがあるため、取り外すようにしましょう。よだれが垂れたり汚れたらこまめに交換して清潔を保つようにしましょう。

3. 汚れがひどいときはぬるま湯で洗い流す

口周りや頬の汚れがひどいときは、ぬるま湯か水で洗い流しましょう。温水は、必要な皮脂まで奪ってしまうことがあります。指の腹を使い、優しく洗い流してあげましょう。

4. ケアしたら水気を取って保湿をする

汚れを拭き取ったり洗顔をしたあとは、水気をしっかり取ったうえで保湿をします。ガーゼなどで水気を押さえ、保湿クリームを薄く塗ってあげましょう。

